

輸出事業計画

※申請者名：株式会社マルハニチロオーシャン、品目：冷凍鮪

1. 輸出における現状と課題

【現状】

- ・静岡県は冷凍鮪の水揚量が全国トップクラス。
- ・国内消費・販売価格の低迷と漁獲量の減少。
- ・国外での日本食ブーム・需要の高まり。（刺身鮪消費量は2007～2017で1.78倍、「責任あるまぐろ漁業推進機構」）
- ・刺身鮪の需要が拡大している海外への輸出に向け親会社のオランダ現地法人に対してニーズ聞き取り。

【課題】

- ・EUへの輸出には、生産から加工、保管までの工程においてEU・HACCPの認定が必要。
- ・EU・HACCP認定に向けた（一財）日本食品検査による現地指導において、老朽化等による施設設備面の不備を指摘されており、機器導入及び改修工事の実施が必要。
- ・他外国産との価格競争が避けられない。

2. 輸出事業計画の取組内容

- ・EU・HACCPの認定取得に向け、品質・衛生管理専門家の指導を受けながら、令和8年度に機器導入及び改修工事を実施する。農林水産省によるEU・HACCPの認定を令和10年4月までに取得する。
- ・原料として加工度の高い製品（サク・プレート）による付加価値で差別化を行う。

【現在の商流の展開】

…商流なし

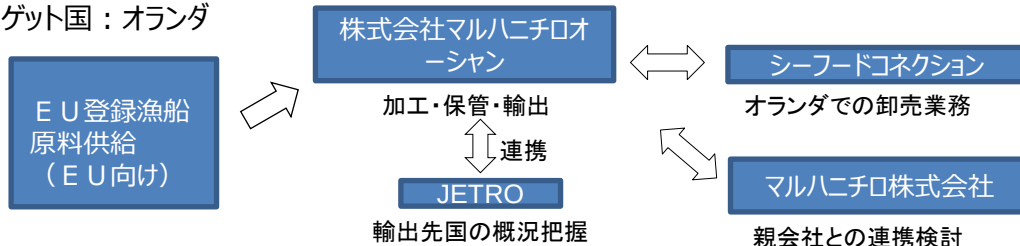
【今後の商流の展開】

(1) オランダ



3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制

ターゲット国：オランダ



4. 輸出目標額

※輸出先国と輸出する農林水産物・食品の現状及び目標金額を記載すること

	現状 (令和4年)	目標年 (令和11年)
輸出額 (円)	0	50,000,000
輸出量 (t)	0	25
輸出先国	なし	オランダ